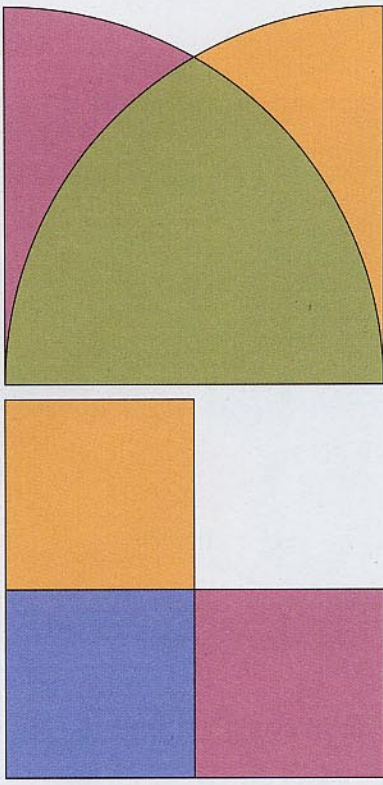


ミュージアム・レター



Gakushuin University
Museum of History

Museum Letter No.9

発行日 ● 平成20年(2008)11月10日

もくじ

ごあいさつ	1
雅楽へのいざない	1
『源氏物語』千年紀 記念展示によせて	2
近世源氏絵の世界から— 史料館本「源氏物語画帖貼交屏風」の紹介	3
刊行物のご案内	4

Information

学習院大学公開講座 「源氏物語千年紀 記念シンポジウム」

平成20年(2008)12月10日(水)

第1部 16:00~17:00 雅楽公演

第2部 17:30~19:45 シンポジウム

会場 学習院創立百周年記念会館1階正堂

「記念展覧会 ~一夜限りの源氏ものがたり~」

会場 学習院大学北2号館1階史料館展示室

*上記のシンポジウム・展覧会の詳細は本レター4頁をご参照ください。

1. ごあいさつ

平成20年12月10日(水)、学習院大学公開講座「源氏物語千年紀 記念シンポジウム」が行われます。世界最古の文学作品である源氏物語が成立して千年の節目を迎える今年、各方面からのご協力をいただき、企画・開催する運びとなりました。講座の第1部では、いちひめ雅楽会による「雅楽公演」、第2部では、三田村雅子氏(フェリス女学院大学文学部)・佐野みどり氏(学習院大学文学部)による「記念シンポジウム」が行われます。また、これに合わせて、史料館展示室において「記念展覧会 ~一夜限りの源氏ものがたり~」も開催いたします。

本号では、今回の講座に関連した記事を掲載いたしました。悠々と語り継がれる源氏物語の奥ゆかしさを感じていただければ幸いです。

(館長 井上勲)

2. 雅楽へのいざない

千数百年の歴史を有する雅楽は、東アジアより伝来した音楽と日本古来の歌舞が融合して成立した日本の伝統芸術です。雅楽には大きく分けて、舞踊を主とする舞楽と器楽演奏だけの管弦があります。

雅楽は平安貴族たちのたしなみでもあり、そのため古典文学には、雅楽についての逸話も多く見られます。『源氏物語』にも雅楽が登場するシーンがありますが、なかでも桐壺帝と藤壺女御の前で、光源氏と頭中将が「青海波」を舞う場面(紅葉賀)を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。

かつてはあまり一般的でなかった雅楽ですが、日本の文化を見直す動きとあまって、最近では様々な団体による公演も行われています。本講座では、京都のいちひめ雅楽会に御公演をお願いいたしました。これを機会に、雅楽をお愉しみいただければ幸いです。

(野尻泰弘)



いちひめ雅楽会による「青海波」